

「砥部焼と手すき和紙原料のコラボによる新しい器作り」研究部会

陶房くるみ カワイチ(株) 窯業技術センター 紙産業技術センター

廃棄予定のミツマタ和紙原料を砥部焼坏土に練りこむことにより、今までにない薄くて軽い砥部焼の開発を行いました。さらに、廃棄されるミツマタの茎に水引を活用した装飾を施し、砥部焼と組み合わせた新たなインテリア雑貨の商品開発を行いました。

砥部焼坏土とミツマタの配合



ミツマタ
(手すき和紙の原料)



未利用部分を手
粉碎方法の検討

ボールミルで粉碎



配合比の検討
混練方法検討

ミツマタの絡まり合いを
増加させるため
トイレットペーパーを配合



試作坏土

紙素材が絡み合った箇所に
坏土が染み込み、その部分
は焼成で焼き飛ぶため、
軽量化を実現

砥部焼・ミツマタ・水引がコラボした新たなインテリア雑貨の試作

インテリア雑貨と食器



アロマディフューザー



ミツマタの枝は中空構造のため、アロマ液
がミツマタ枝の先端部まで吸い上げられる

ミツマタの花をイメージした水引飾り



ミツマタの特徴的な枝
(未利用部分) も活用

未利用部分を最大限に活用した
SDGsに貢献する次世代のインテリア雑貨

- 砥部焼坏土と紙素材(ミツマタ等)を配合した薄くて軽い砥部焼の開発を行いました。
- 砥部焼、ミツマタ、水引がコラボした新たなインテリア雑貨の試作を行いました。
- 今後は、試作品の展示会への出展やテストマーケティングを実施予定です。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しました。